

## 1. 活動テーマ

### 【テーマ】

氷に触ってみよう

### 【テーマの設定理由】

夏ならではの遊びから、いろいろなものを凍らせた氷に触って変化を楽しみたいと思い、このテーマを設定した。

## 2. 活動スケジュール

園庭で興味を持っていた草花や石などを凍らせて、見たり、触ったりする。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

・机・トレイ・草花や石・製氷皿・桶

## 4. 探求活動の実践

### 【活動内容】

好きな形の氷に触って溶けていく様子を楽しむ

### 【活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり】

園庭に咲いているオシロイバナや石、葉っぱなど、身近な自然を製氷皿にいれるところから子どもたちと一緒に、「凍ったらどんな風になるんだろうね!」と楽しみにしている姿がみられた。すくわく当日、まずは普通に凍らせた氷のみを桶の中に入れてあげると「きれーい!ピカピカしてるね!」と見た様子を言葉にしている子どももいた。触ってみると「冷たいね」「つるつるしているね」「つるつるで落ちちゃうね」など子ども同士で話し合っていて楽しんでいた。子どもたちのほうから「この前のお花たちどうなったの?」と製氷皿に入れたことを覚えている子どもがいたので、桶の中に入れてあげると大きさや形の違いに気づいたり、氷の中に入っている草花が取れないことに気づき、どうやったらとれるのか氷を落としたりして割ろうとする姿があった。また、テーブルの上で氷を滑らせたり、取れたオシロイバナを指でこすって水に色がついたことを保育士や友達に教えたりして発展させていく姿が見られた。また、水を用意し、水を入れると、入れる前の水と桶の中に入れた水の温度の違いにも気づいている子どももいた。



## 5. 振り返り

### 【振り返りによって得た先生の気づき】

夏ならではの氷遊びをすくわくとして実践したところ、テーブルに滑らせてみたり、オシロイバナで色水を作って色の変化に気づいたり保育士が働きかけなくても子どもたち同士で発展させていく姿があり、子どもたち一人ひとりの声をひろって「こんなふうにしたらどうなるかな?」と保育士や子どもたちとで考える面白さを感じることができた。普段の生活の中でも子どもたちの気づきや発見に耳を傾けながら過ごしていきたいと感じた。